

特集1 認知症はどうしたらいいのか

増え続ける認知症患者さんに、精神科の現場はどうしていったらいいのか。いろいろな患者さんがある病棟で看ることのジレンマ、マンガでわかる各疾患別ケアのコツ、訪問診療の実践など、認知症ケアを取り巻くあらゆる知恵と実践を集めました。

特集2 その職歴と経験が看護に活かしている

看護とはまったく別の仕事をしていた人から見える、精神科看護の世界とは。元営業マン、元OL、元野球選手の精神科看護師たちに、座談会で語っていただきました。

勉強 痛みに対する認知行動療法の実践

発見 タイの精神科医療

訃報

本誌でもご活躍いただいたイラストレーター・大須賀友一さんが、2011年3月30日、脳出血のため享年44歳にて永眠されました。ご冥福をお祈りし、謹んでお知らせ申し上げます。「ほ・ん・へ（ほんとうにあったへんな話）」の長年の連載や、昨年7月号特集「マンガほ・ん・へで振り返る 精神科で看護師をするということ」では、丁寧でユニークなタッチのイラストがとても人気でした。本当に本当に、お世話になりました。どうか、やすらかに眠ってください。



投稿のお願い

★研究論文については、下記をご参照ください。

- ① 8000字以内（図表を含みます）。
- ② メールでの送信も可能です。
- ③ ワードプロなどをご使用で、郵送される場合は、原稿と共にフロッピーディスク（テキストファイル）を同封してください。
- ④ 著作権侵害を避けるため、他誌（書）から引用される場合には、必ず出典を明記してください（本文引用の肩に番号をつけ、本文末尾に一括して引用順に）。〈雑誌〉執筆者：論文名、雑誌名、巻数、号数、引用ページ、発行所、発行場所（外国の場合のみ）、発行年。
- ⑤ 他誌からの転載は、原作者（または出版社）の許諾が必要です。
- ⑥ 個人情報の扱いについては十分な配慮と、必要場合は同意を得て執筆をお願いします。
- ⑦ 印刷物からの複写・複製などについて。投稿された論文が本誌に掲載された場合、印刷版面を利用して複写・複製、送信し（データベース化などの変形仕様も含む）頒布すること、翻訳・翻案・ダイジェストなどにより、二次的著作物として頒布すること、および第三者に対して転載を許諾する権利は医学書院に帰属します。なお、著作者ご自身のこれらの権利を制限するものではありませんが、再利用される場合は事前に弊社あてご一報ください。
- ⑧ 論文の採否は論文審査委員会の査読を経て決定します。審査の結果、原稿へ加筆、修正をお願いすることがあります。原稿、フロッピーディスクは採用するしないにかかわらず返却いたしません。

送付先 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
医学書院「精神看護」編集室
seikan @ igaku-shoin.co.jp

編集後記

大地震のあった日、私は会社にいました。あまりの怖さに、いつもは膝に掛けていたブランケットをしばらく頭にかぶっていました。「変ですよ」と言われましたが、耳周りが温かいのは安心でした。その後も余震が続き、不安で身体が備蓄モードに入ったのか、気づくと大食いをしていました。言葉にできない不安の理由を問うようにご執筆をお願いをしているうちに、緊急特集がこのようなページ数になりました。いろいろ考えている暇がないほど、編集作業が忙しくなりました。（米沢）

精神看護 第14巻第3号 2011年5月15日発行（隔月刊）
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo 2010, Printed in Japan

1部定価 1,260円（本体1,200円＋税5%）
年間予約購読料 7,380円
電子ジャーナル閲覧オプション付 12,500円
（年間6冊：税込・送料当社負担）

発行 株式会社医学書院 代表者／金原優
☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
販売部 TEL (03) 3817-5657
「精神看護」編集室直通
☎ (03) 3817-5769 FAX. (03) 5804-0485
担当：米沢／石川／白石 E-mail : seikan @ igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCOPY〕〈（社）出版者著作権管理機構 委託出版物〉本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、E-mail : info @ jcopy.or.jp）の許諾を得てください